



北海道初演 シベリウス生誕160年 KULLERVO in HOKKAIDO

# KULLERVO

フィンランドの国民的叙事詩「カレヴァラ」による  
若きシベリウスの胸迫る名作『クッレルヴォ』

開演40分前～ロビーコンサート ベルあんさんぶる“森のトントッ達”

第1部 Finland 男声合唱団 Lauhu Miehet on A cappella stage / 指揮 マッティ・ヒョッキ  
J. シベリウス E. メラルティン E. ラウタヴァーラ L. マデトヤ E. リンナラ

第2部 Kullervo クッレルヴォ・Finlandia フィンランドディア(合唱付き)  
J. シベリウス

指揮 / 新田 ユリ  
クッレルヴォ / バリトン 鈴木 啓之  
クッレルヴォの妹 / メゾ・ソプラノ 駒ヶ嶺 ゆかり

男声合唱 / Finland男声合唱団 Lauhu Miehet  
北海道大学合唱団  
管弦楽 / 北海道大学交響楽団

2025

5.25 日

14:00 開場 15:00 開演  
17:30 [終演予定]

札幌コンサートホールKitara 大ホール

指定席 ¥4,000 一般席 ¥3,000 U25 ¥1,000

Kitara Club 会員先行販売 1/5 [日] 一般販売 1/12 [日]

※U25割は1999年以降生まれの方を対象とします。ご購入・ご来場時に身分証明書をご持参ください。  
※Kitara Club会員特別料金500円引き。  
※チケットの詳細については裏面をご覧ください。

お問い合わせ / 日本シベリウス協会 sibjpinfo@gmail.com

主催 / 日本シベリウス協会・日本シベリウス協会北海道支部 共催 / 北海道大学交響楽団・北海道大学合唱団

後援 / フィンランド大使館 (一社)日本フィンランド協会 日本フィンランド文化友好協会 北欧文化協会 フィンエアー日本支社 北海道フィンランド協会

NPO法人北海道国際音楽交流協会(ハイメス) (一社)北海道二期会 (公社)北海道国際交流・協力総合センター 札幌市・札幌市教育委員会 札幌音楽家協議会

北海道新聞社 朝日新聞北海道支社 毎日新聞北海道支社 読売新聞北海道支社 北海道放送(HBC) 北海道テレビ放送(HTB) 北海道文化放送(UHB)

テレビ北海道(TVh) AIR-G'エフエム北海道 FM NORTH WAVE

# シベリウス生誕160年に贈る KULLERVO in HOKKAIDO (北海道初演)

シベリウスが管弦楽作曲家としての地位を確立したのは、1892年4月28日のヘルシンキ大学大ホールにおける五楽章作品『クッレルヴォ』でした。「火山の噴火のようだ」と評され大成功であったにも関わらず、その後シベリウス自身によって完全に封印され、近年に至るまで演奏されませんでした。そして今、シベリウス生誕160年という記念の時を迎え、Finland 男声合唱団 Lauu Miehët が、そのスピリッツを携えて共に創立110年を迎える北海道大学合唱団とひとつになり、二人のソリストと共に『クッレルヴォ』の物語をカレヴァラの言葉で語ります。北海道大学交響楽団は情熱をもってこの作品の根幹を成すクッレルヴォの魂のマグマ、そして若きシベリウスの創造的エネルギーを奏でます。敬愛してやまないシベリウスへの音楽の捧げものを北の大地に新たに刻むこととなるでしょう。



日本シベリウス協会会長  
指揮／新田 ユリ  
Yuri NITTA

1991年東京国際音楽コンクール<指揮>第二位受賞。2000～01年、文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのものと研鑽。以後日本とフィンランドを拠点とする。クオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、クリスチャンサン管弦楽団、南デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団等北欧各国のオーケストラに客演。2015年～20年愛知室内オーケストラ初代常任指揮者を務める。尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。現在、桐朋学園指揮科特任講師、相愛大学非常勤講師。日本シベリウス協会会長・理事長、日本・フィンランド新音楽協会代表。



バリトン／鈴木 啓之 Hiroyuki SUZUKI

名古屋音楽大学卒業、同大学院修了後、2008年～13年フィンランドに留学。Jorma Hynninen氏、Marja Holopainen-Tateno氏に師事。第8回大阪国際音楽コンクール最高位入賞。オペラでは「魔笛」、「蝶々夫人」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「アマールと三人の王様」、「泥棒とオールドミス」、「藤戸」など主要キャストとして出演。これまでに北欧歌曲を中心とした7回のソロリサイタル開催。『Kullervo』は、2023年に続き2回目となる。2024年、299 Musicより「オスカル・メリカント歌曲集」をリリース。現在、日本シベリウス協会運営委員、日本・フィンランド新音楽協会運営委員、東京二期会会員。



メゾ・ソプラノ／駒ヶ嶺 ゆかり Yukari KOMAGAMINE

札幌大谷短期大学卒業、同学研究科修了。1998年～01年フィンランドに留学。館野泉氏、マリア・ホロバイネン氏の許で研鑽を積む。帰国後、4年間8回のリサイタルを開催し「シベリウス歌曲全曲演奏会」を完遂。シベリウス「没後50年」「生誕150年」にて『Kullervo』のソリストを務める。リサイタル『北欧の魂(こころ)を詩う』に対し、札幌市民芸術祭大賞受賞。道銀芸術文化奨励賞を受け札幌交響楽団とシベリウス管弦楽歌曲を協演。札幌文化奨励賞受賞。現在、日本シベリウス協会理事。(公財)北海道文化財団評議員。北海道国際音楽協会理事。北海道二期会会員。



## Finland 男声合唱団 Lauu Miehët

Finland 男声合唱団 Lauu Miehëtは1914年設立のフィンランドの合唱団。フィンランドを代表する作曲家J.シベリウスも、この合唱団のために多くの作品を残した。1939年「フィンランディア賛歌」を初演。シベリウス没後1年目の1958年に、「クッレルヴォ」初演以来の再演を行った。これまでヨーロッパ各国、アメリカ等で演奏旅行を行い、2015年に初の日本公演を実現。出版においても大きく貢献し、歴史に残るフィンランドの男声合唱曲集全3巻を1959年に出版。指揮者マッティ・ヒョッキ(1946～)は、1998年から現在も首席指揮者を務め、2017年、国家からPro Finlandiaの称号を授与された。



## 北海道大学合唱団

1915年に英語教師であったポール・ローランド氏を中心として「農科大学グリークラブ」として演奏会を開いてから、100年以上札幌を中心に活動している伝統ある大学男声合唱団。夏に行う他団体とのジョイントコンサートや、冬に行う年に一度の定期演奏会を中心に活動している。2024年現在、全日本合唱コンクールにて9年連続全国大会出場中で、2015年には金賞・長崎市教育委員会賞、2019年には金賞・日本放送協会賞受賞。



## 北海道大学交響楽団

1921(大正10)年に結成された北大ソキエタス・パストラーリスを源流とする北海道最古のオーケストラ。「北大オケ」の名で親しまれ、北海道大学の学生を中心に約200名が所属している。毎年春と秋に開催する定期演奏会では、交響曲などに加えて、当団の永久名誉指揮者である川越守の作品から一曲選り演奏する。その他にも、北海道大学の入学式・卒業式での演奏や、室内楽演奏会、クリスマスコンサートの開催など、年間を通して様々な活動を行っている。



## ロビーコンサート

ベルあんさんぶる“森のトントウ達”  
1995年、ピアニスト菅田富士江の発案により結成。2005年シベリウスフェスティバル in JAPANのオープニングセレモニーで演奏。2001年より参加の全日本ミュージックベルコンテストにおいて金賞はじめ多くの受賞歴を持つ。自主公演ではフィンランドの作品を中心に多彩なゲストと共演している。

- チケット取り扱い
- Kitaraチケットセンター 011-520-1234
- 道新プレイガイド(MARUZENジュンク堂書店札幌地下1階) 0570-00-3871
- 市民交流プラザチケットセンター窓口(市民交流プラザ2階) 0570-00-3871
- セコマチケット(セコマコード D25052501)

お問い合わせ先  
日本シベリウス協会  
sibjpinfo@gmail.com



関連コンサート  
2025年  
5月23日[金]  
Finland 男声合唱団  
Lauu Miehët  
ア・カペラ  
コンサート  
19:00 開演  
札幌市時計台ホール  
入場料 ¥1,000  
Lauu Miehët on Acappella Concert

日本シベリウス協会とは

1984年12月8日、指揮者の故渡邊暁雄を初代会長としてスタートした日本シベリウス協会。1990年からピアニスト館野泉がそのバトンを受け取り、2014年に指揮者の新田ユリに手渡すまで24年に渡り牽引。2006年、館野泉の提唱により北海道支部が発足。日本の最北に位置する北海道は気候がフィンランドと似ていることもあってシベリウスファンが多い。北海道支部はフィンランドのアーティストとも活発に交流し、演奏活動や学校での指導なども実施。シベリウスの音楽を通じてフィンランドと北海道の間に良好な関係を築くことを願っている。